

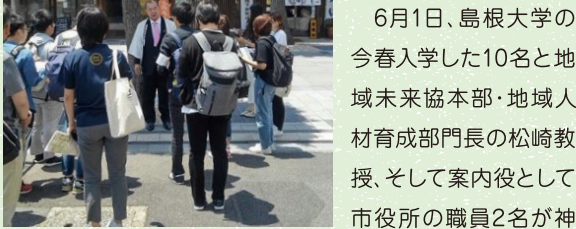


発行元：神門通りおもてなし協同組合 事務局：〒699-0711 島根県出雲市大社町杵築南1344(出雲商工会内) TEL0853-31-9660/FAX0853-31-9961 発行責任者：田邊達也



島根大学1年生

フィールドワーク 神門通り



6月1日、島根大学の今春入学した10名と地域未来協本部・地域人材育成部門長の松崎教授、そして案内役として市役所の職員2名が神門通りに来訪。目的は、1年生の時から地域を知っていただき、将来の定住促進へと繋ぎたいという狙いのようなのでした。

10名のうち5名が県外出身で、出雲大社も初めてというかたもいたようですが、田邊理事長からは、「島根はもとより全国の多くの県の最大の課題は人口問題であり、その場しのぎの対策など意味をなさない。皆さんのような若い人たちが抜本的な手法に着手するときは既に来ている。そのために今何を学ぶべきか大切」と座学を行い、そのあと全員で神門通りを歩きました。今後もこのような若い力に期待したいですね!



国立大学法人
島根大学



5月22日、須谷旅館において「神門通りおもてなし協同組合」の第7期令和元年度の通常総会が開催されました。

神門通りおもてなし協同組合

令和元年度

通常総会開催

当日は、ご多忙の中多く来賓にもご臨席いただき、予定しておりました議案は全て承認されました。またことにありがとうございます。

さて、当組合も出雲大社本遷座祭に発足以来、早いもので7期目となりました。発足以来様々な皆様のご協力のおかげで、この10年あまりで飛躍的な発展を続けてきました。しかし、本年3月をもって出雲大社の大遷宮も完遂となり、いよいよ私たち「神門通りおもてなし協同組合」の個の力が試される時となりました。



新しく「令和」となり、まさに節目、切り替えの時期です。また皆で力と知恵を合わせ、さらに躍進して参りましょう!

おもてなし研修会 ～プロジェクトゆうあい～

本年度2回目のおもてなし研修会が、5月29日「障害を知り共に生きる」をテーマに松江市のNPO法人「プロジェクトゆうあい」から3名、講師お1人をお迎えして、出雲商工会にて開催しました。

チームリーダーの中路さんからは、様々な障害者の方がいる概要と、それに伴う法律の整備などについて説明がありましたが、特に日本は国際条約である「障害者差別解消法」に141番目にやっと3年前に加盟、施行した話には驚きでした。

その後、参加者3人が一組になり視覚障害の矢野さんと盲導犬のハダル君の指導でお店の接客について一連の動作を学び、肢体不自由の石倉さんからは車いすの扱い方などをご指導いただきました。

参加した15名は、こんなにも大変かと改めて障害について考えさせられた時間となりました。皆さんのお店に何らかの障害のあるお客様がお店に来られたらどのように対応しようか話し合ってください。



オリンピック聖火リレーコース決定?

いよいよ2020年東京五輪まで1年を切りました!気になる聖火リレーですが、島根県内では2020年5月16日～17日に走ることが決まりました。果たして神門通りを聖火リレーがとおるのでしょうか?今後の情報に注目です!